

6月定例会議 6月16日～17日

【あらまし】

6月定例会議では、条例改正や一般会計・各種会計補正予算などが提案され、全て本会議において原案通り可決しました。

また、令和7年度一般財団法人下川町ふるさと開発振興公社事業報告などが行われたほか、3名の議員が一般質問を行いました。

◆下川町営住宅使用条例の一部を改正する条例

老朽化により維持管理が困難となった昭和53年度建設の南町町営住宅、木造二階建1棟2戸（中学校教員住宅）の除却工事の施工に伴い、条例別表から削るものです。



除却予定の教員住宅 木造二階建1棟2戸

質問 町営住宅除却後の跡地（昨年度除却した住宅の跡地も含め）の利活用について、現段階で考えているものはありますか。

答弁 除却後の跡地は、新たな町営住宅建設の候補地として考えていますが、具体的な建設時期や整備内容は、今後の住宅需要などを捉えながら検討していきます。

◆一般会計補正予算（第2号）

補助採択によるもの、緊急を要するものなどで、その一部を掲載します。

・農村活性化センター管理業務

営農指導員1名を確保できなかったことによる減額と会計年度任用職員任用のための経費

105万6千円増額

質問 農村活性化センター「おう

る」の管理について、会計年度任用職員の業務はどのような内容になっていますか。

答弁 「おうる」や農業研修道場の管理のほか、新規就農者に対する相談業務、関係機関につなぐなどの役割を担っていただく予定で



◆令和7年度一般財団法人下川町ふるさと開発振興公社事業報告について

事業報告の概要

五味温泉運営事業は、浴室天井改修工事による休業の影響などにより、前年度に比べ宿泊・日帰り利用者ともに減少した一方で、結いの森運営事業では、前年度に比べ宿泊利用者は増加し、開業当初より目標としていた宿泊収入3,000万円を超えた。

また、令和6年度決算で公社職員（当時）の横領に伴う2,402万1,455円の使途不明金が判明したが、それ以降に生じた金額が加わり、令和7年度決算の不明金は2,639万6,104円となった。

不明金は、横領した元職員が毎月一定額を弁済している。支払いの遅延による不明金としていた569万7,788円について、現在支払いは完了している。